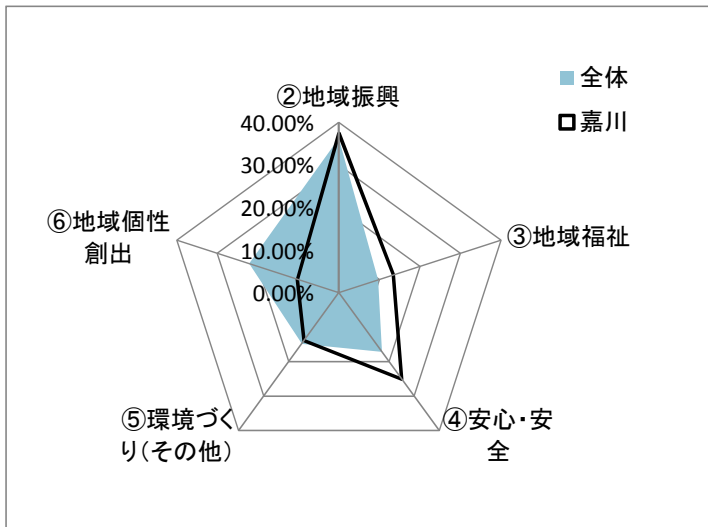


嘉川地域 地域づくり協議会運営状況概要(平成25年度決算)



交付金配分枠	12,278,000 円
交付金決算額	11,418,517 円
その他収入	1,025,172 円
決算／配分	93.0%
各項目の決算	
①協議会運営	4,281,721 円
②地域振興	1,223,860 円
③地域福祉	440,161 円
④安心・安全	819,038 円
⑤環境づくり(土木工事)	4,889,000 円
⑤環境づくり(その他)	454,899 円
⑥地域個性創出	335,010 円
決算総額	12,443,689 円

地域づくりの活動方針 (テーマ)

調和の取れた地域の発展と住みよい嘉川の創出、並びに文化教養の向上による地域づくりの推進

総括

5年計画で26の地域づくり計画を立て4年次を終えました。この事業は地域全体から参加してもらったもの、協議会35名の執行役員によったもの、有志の自由参加によって委員会を作って行ったもの等がありますが、いずれも住民の方々の意欲的な取り組みを得て、その目的をおおむね遂行することができました。

概要

①協議会運営	事務局人件費 事務費
②地域振興	地域づくり協議会広報、あいさつ運動の推進、郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備、食生活改善と推進、登山コース、ハイキングコースの標示と整備、盆踊り
③地域福祉	見守りグループ活動、生き生きサロン活動の充実、子育て支援組織活動と支援、高齢者活動の推進、生涯スポーツの推進、ボランティア活動の研修と推進
④安心・安全	反射鏡設置事業、高齢者ドライバー1日ドック、児童・生徒下校時の安全確保、地域防災活動
⑤環境づくり	土木工事、道路・河川・海岸の清掃活動、地域環境美化活動の推進、花いっぱい運動の推進、桜公園の建設推進
⑥地域個性創出	子どもと高齢者の世代間交流事業の推進、子どもと高齢者世代間交流による昔話の伝承、地域産品・交流創出事業、古記録・古行事・古写真の収集並びに編集

今年度、重点的に取り組んだ事業

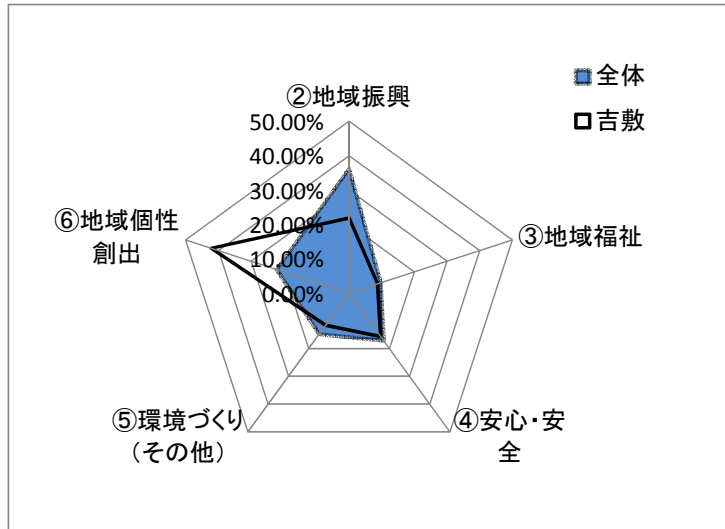
①	視点	安心・安全な地域づくりを推進します。		
	事業名	地域防災活動	決算額	531,898円
	事業概要	<p>(実施内容) 山口市の「平成25年度地域防災活動促進事業」の実施地域に指定され、各自治会長等を対象に、地域防災力の向上(自主防災組織の育成)を目指し、地域防災の進め方・考え方をテーマに講演や地図を使った演習(ワークショップ)を嘉川小学校、興進小学校の2校区に分けて、各々2回シリーズで研修会を開催しました。 他県の防災活動の実態を学ぶと共に災害の疑似体験をするため「福岡市民防災センター」を視察しました。 防災用真砂土置場等の防災設備や土嚢などの防災資機材を整備するとともに、地域内の70箇所を対象に海拔表示板を作成しました。 本年度新たに設置された地域防災組織(福岡自治会)に対し、嘉川地域防災資機材整備補助金制度(25年度新設)を適用し助成を行いました。</p> <p>(実施時期) 地域防災研修会 嘉川小学校区 平成26年1月10日、1月20日 興進小学校区 平成26年1月14日、1月22日 (講師) NPO法人 ぼうぼうネット 防災調査研修視察 平成25年12月3日</p> <p>(参加人数) 講演会、研修会等： 延べ 280人</p> <p>(成果) 研修会、視察等に自治会長、婦人会員など多数の参加があり、地域防災に対する学習が進みました。又、地域防災組織が1組織設立されました。</p> <p>(評価) 研修等を積み重ねることで地域住民の防災に対する関心、意識が次第に高まり、自主防災力の向上が期待されます。</p> <p>(今後に向けて) 災害時における自助のための備え、知識をまず各人がしっかり身に着け、そのうえで自主防災組織によって互いに助け合う共助もできる地域づくりを目指し、嘉川地域の防災活動を推進します。</p>		
②	視点	地域文化の伝承と豊かな文化教養を育む風土づくりを推進します。		
	事業名	郷土学習と遺跡・史跡の顕彰と整備	決算額	555,525円
	事業概要	<p>(実施内容) 平成22年度から実施した地域内の遺跡・史跡の発掘整備も4年を経過して、後世に伝える資料作成と標柱建植作業を各地区の協力で行うことができました。 今年度はそれらをまとめたルートとポイントを1枚のマップにまとめました。</p> <p>(実施時期) 7月より各ポイント付近の路地地図作りとルートづくりに取り組みました。 9月よりポイント紹介記事を作成しました。</p> <p>(参加人数) 建植作業 自治会、子ども会 25人 調整会議 延べ34人</p> <p>(成果) 史跡ルートマップが完成しました。</p> <p>(評価) 地域子ども達が身近な遺跡、史跡に触れる機会を得て、往時の人の営みから「点」を知り、「線」を悟り「面」につながる、嘉川の歴史を感じる資料を作ることができました。</p> <p>(今後に向けて) 地域郷土史家の指導と助言を得て、記録写真も取りまとめた冊子の発刊をおこないます。</p>		

※裏面もあります

③

視点	地域産品の創出と産業・交流の促進により地域の活性化を推進します。		
事業名	地域産品・交流創出事業	決算額	282,010円
事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>1 「嘉川でできた米を使って、オリジナルのお酒を造る。」を目指し、地域の大人も子供も一緒になって酒米の田植えから稲刈りまで行いました。また、新聞、テレビ取材、チラシ等で地域内外に広報しました。新酒が出来上がり、2月には新酒発表会も開催しました。</p> <p>2 山口南部9地域の交流を図り、地域の特性を広めるため開催された「ヤマグチナンブ9スタンプラリー」に参加しました。</p> <p>(実施時期・参加人数)</p> <p>スケジュール策定会議 5月11日 25人参加 田植え 6月16日 67人参加、 稲刈り 9月16日 72人参加 新酒発表会 平成26年2月8日 28人参加 スタンプラリー 10月1日～12月2日 329人参加</p> <p>(成果)</p> <p>地域産品としての酒（嘉穂の郷）が昨年に続き本年度も醸造できました。また、大人も子供も田植えや稲刈りの体験ができ、地域住民の交流の場となりました。スタンプラリーでは、地域の歴史、名所などが紹介できました。</p> <p>(評価)</p> <p>4年目を向かえ、地域産品として創出した酒「嘉穂の郷」も次第に地域に浸透しつつあります。また、一連の行事が恒例のイベントとして定着してきました。スタンプラリーは遺跡・史跡や特産品等の地域の特性を再認識できました。</p> <p>(今後に向けて)</p> <p>古くから栄えた酒造りの風土とその産品が継続するようイベント等を通じ努めていきます。更に、新たな地域産品の掘り起しにも取り組みたいと考えています。また、山口南部9地域の交流事業も更に進めていきます。</p>		

吉敷地域 地域づくり協議会運営状況概要(平成25年度決算)



交付金配分枠	11,414,000 円
交付金決算額	10,840,908 円
その他収入	2,359,312 円
決算／配分	95.0%
各項目の決算	
①協議会運営	6,308,136 円
②地域振興	981,246 円
③地域福祉	390,727 円
④安心・安全	700,212 円
⑤環境づくり(土木工事)	2,405,000 円
⑤環境づくり(その他)	521,700 円
⑥地域個性創出	1,893,951 円
決算総額	13,200,972 円

地域づくりの活動方針 (テーマ)

組織を改編した新しい地域づくり協議会において、スムーズな事業推進のために細分化された専門部会を立ち上げ地域内活動団体との連携を図り、「笑顔あふれる ふれあいのまち」のテーマを各事業に当てはめて、地域づくり計画の速やかな事業の実施をめざします。

総括

組織再編を実施し専門部会を充実させ、地域内の活動団体との連携を図りました。試行錯誤しながらも、継続事業、新規事業ともに、地域の多くの方の協力や参画により実施することができました。
また、地域全体で課題の洗い出しができ、専門部会で検討された解決方法が共有され、自治会を中心に地域内活動団体との連携により事業実施される仕組みが少しずつ動き出していると思います。

概要

①協議会運営	協議会運営
②地域振興	ふれあいあいさつ運動、地域情報発信事業、成人式思い出づくり、人権学習推進事業
③地域福祉	青少年健全育成事業、ふれあいスポーツ交流事業
④安心・安全	自主防災組織づくり、子どもと高齢者の見守り活動
⑤環境づくり	土木工事、カーブミラーの充実、ホタルが飛び交うふるさと吉敷、環境美化運動
⑥地域個性創出	コミュニティ活性化事業、ふるさと伝承事業

今年度、重点的に取り組んだ事業

①	視点	テーマに沿った「ふれあい」を中心にした地区住民同士のつながりづくり		
	事業名	ふれあいあいさつ運動	決算額	344,025円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>あいさつの啓発グッズの作製、各種行事におけるふれあいの場の演出など、地域住民が顔を合わせ、声を掛け合うきっかけを提供し、あいさつ運動の促進に努めました。</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 2,000人</p> <p>(成果) 啓発グッズのほか、まつりで「ふれあい標語」を募集し、交流センター発行のふるさとだよりで紹介するなど、あいさつ運動の啓発ができました。</p> <p>(評価) 年を通じての啓発ができました。</p> <p>(今後に向けて) 今後も継続していきます。</p>		
②	視点	地区に在る景勝や昔話等の保存と具現化		
	事業名	ふるさと伝承事業	決算額	965,964円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>地域の文化的価値の保存、継承および人材育成のための団体活動の補助</p> <p>(実施時期) 通年</p> <p>(参加人数) 300人</p> <p>(成果) 山口県立大学との連携により、吉敷の景勝や偉人、名所旧跡の記録、史料のアーカイブ化などの保全活動が進捗しました。また、中尾の藤棚の古木と若い木を継続的に保全しているため、年々その成長を楽しめるようになっていきます。</p> <p>(評価) 今後、HPなどで吉敷の文化を広く伝えるための基礎作業ができました。</p> <p>(今後に向けて) 中尾の藤棚も含め、地域住民が価値を見出している「吉敷の文化」を見極め、伝承していくとともに、そのための人材発掘に努めていきます。</p>		
③	視点	安心安全のための防災意識の向上		
	事業名	自主防災組織づくり	決算額	561,850円
	事業概要	<p>(実施内容)</p> <p>地域独自の防災無線の整備と、防災先進地視察研修を実施しました。</p> <p>(実施時期) 11月・3月</p> <p>(参加人数) 50人</p> <p>(成果) 自主防災組織の立ち上げについてのノウハウや課題を視察研修で学ぶことができました。また、防災無線を整備し、消防団で実証的に活用するなど、自主防災組織の立ち上げのための準備に取り組むことができました。</p> <p>(評価) 吉敷でも豪雨による被害が大きかったことなどから防災に対して関心が高まっています。そのため、研修の呼びかけには多くの参加がありました。</p> <p>(今後に向けて) 先進地の例を参考にしながら、自主防災組織の立ち上げに向けて、着実に段階を進めていきたいと考えています。</p>		